

# インフォコム

<https://service.infocom.co.jp/healthcare/irad/>

放射線部門の業務効率化をシステムで支援



## [主な紹介製品]

- 放射線情報システム「iRad-RS」
- 放射線レポートシステム「iRad-RW」
- 放射線治療システム「iRad-RT」
- 放射線治療ビューア「RT Image Viewer」
- 検像システム「iRad-QA」
- 整形外科画像システム「iRad-OT」



iRad-RS 検査ワークリスト画面



iRad-RW レポート作成画面

インフォコムの放射線部門システム iRadシリーズは、放射線部門が抱える多くのご要望・ご相談の声に応え、業務を支援する多彩な機能を実装し続けている。

特に、放射線情報システム『iRad-RS』と検像システム『iRad-QA』の更なる連携強化を進めている。RIS上で検像状況や撮影枚数を確認したり、iRad-QAで検査内容を参照しながら検像業務を行うなど、これまで2つのシステムにて参照する必要があった情報を1ヵ所で確認することが可能となった。また、検像で受信した画像のDICOMタグ情報とオーダ情報を自動マッチングし、患者情報等に相違があればRIS

に警告を出すことが可能である。

放射線技師へのタスクシフトが推進される中、業務効率化につながるシステム活用を提案していく。

## ◆放射線情報システム

### iRad-RS

RISの機能のひとつとして簡易的な被ばく線量記録機能を展示。患者/検査項目単位での線量情報の一覧表示、平均値出力や国内の診断参考レベル(DRLs 2020)との比較が可能。核医学検査での線量管理にも対応を広げ、放射性医薬品の減衰計算を行うことで、投与時の放射線量を記録することが可能である。

## ◆放射線レポートシステム

### iRad-RW

様々な読影レポート作成支援ツールだけではなく、症例検索や読影業務のデータ分析など、蓄積された情報を効率的に活用できる。読影率集計機能は、翌診療日までの読影率を簡単に集計。検査前に確認・指示した記録も残せるため、画像診断管理加算3にも対応可能。また、画像診断報告書の確認漏れ対策として、既読管理機能を活用できる。電子カルテなどと連携を行うことにより、他部門でも既読状況の確認が可能となる。